

# 学生寮提供就労も支援 ニッポン アカデミー

日本語学校や専門学校を手掛ける学校法人ニッポンアカデミー(前橋市大手町、清水謹理事長)は18日、ロシアによる侵攻を受けるウクライナからの避難民を30人受け入れると明らかにした。高山キャンパス(高山村)にある学生用の寮に入居し、日本語を学んだり、日本での就職に向けた教育を受けたりしてもらう構想。行政などの支援があれば、最大300人を受け入れられるという。法人は「現地のすさまじい状況を受け、可能な限りの支援を提供したい」としている。

高山キャンパスは専門学校として使われてきただが、コロナ下を踏まえ、今後は研修などをを行うトレーニングセンターとして活用する計画を進めていた。複数の学生寮を備えており、最大300人超が入居できるといふ。

同法人は留学生に日本語をはじめ、日本の習慣や文化などを指導。特定技能の資格を取得してもらうためなどを指導することも可能という。避難民が滞在するための費用や物資などについては、幅広く寄付を募ったり、ボランティアの協力を得たりしたいとしている。

清水理事長は、留学生の入国制限などで法人としても厳しい経営環境だとした上で、「ウクライナの窮状を前に、今できる支援をし

と説明している。

既に、入管厅に対して避難受け入れの意向を伝えている。県内自治体などとも連携する考えで、例えば公営住宅で自治体が受け入れた避難民に日本語などを指導することも可能といふ。

○を通じてネパールや台湾の地震、インドネシアの噴火、スリランカでのテロなどの際に義援金を贈る支援を受け入れる活動は今回が初めてという。

(石倉雅人)

同法人は、関係するNPOを通じてネパールや台湾の地震、インドネシアの噴火、スリランカでのテロなどの際に義援金を贈る支援を受け入れる活動は今回が初めてという。

なければ後悔する。支援の輪が広がってほしい。受け入れた中から将来、日本人材を輩出できたら」と話している。